何もしないのが一番もったいない。うまくいかなかったことが人生の糧になることもある。

取材・文／京都女子大学所属
松田　歩弓　平野　夏帆

日本新薬株式会社　創薬研究者

田中（たなか）　敦洋（あつひろ） さん　1989年　千葉県千葉市出身

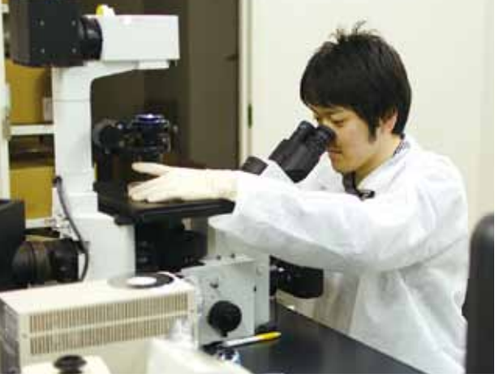
県立千葉高校、東京理科大学薬学部、東京大学大学院薬学系研究科修士課程を経て日本新薬株式会社に就職。就職を機に京都に来て3年目。創薬研究所で、将来、薬の標的となりうる分子を発見することや、生物学的に薬の候補化合物を評価する研究に励む。

人生の目標をきめた交通事故

「患者さんの役に立つような薬を創りたい」と語るのは、日本新薬株式会社で創薬研究者として働く田中敦洋さん。田中さんが今の仕事を志したのは小学校6年生の時、交通事故で右腕骨折の重傷を負ったことがきっかけだ。腕を切断するかもしれないという宣告を受け、「自分の人生が変わると思った」と田中さんは振り返る。この怪我を機に、高校時代には医学部進学を考えた。その後、創薬研究の仕事をしているOBの話を聞き、創薬研究に対して「医療に結びつくこと、科学を追求することの両面の面白さ」を感じた。さらに、「臨床医になっても、救える人の数は自分の接した患者さんだけに限られる。でも、薬を創れば全世界の患者さんに届けることができる。与える影響が広く大きい」との思いを抱き、薬学部への進学を決めたのだ。大学時代は、「勉強、アカペラサークルの活動、塾でのアルバイト」で忙しくも楽しい生活を送る。4年生から修士課程修了までは研究生活でさらに忙しい毎日だったと言う。

成果にこだわり、効率よく研究する

現在は血液がんに対する治療薬の基礎研究に取り組んでいる田中さん。特定の標的を見つけ、それを基に議論を重ねてテーマの提案や設定を行い、研究を進めていくのが仕事のやり方。少人数で携わるため、一人の仕事の幅が広く、若手でも様々な研究をさせてもらえる。現在、研究する上で意識しているのは「成果にこだわること、効率よく研究すること」だ。「学生時代は論文を書くことが目的であったのに対し、仕事では患者さんにとって役に立つ薬をどうやって創るかがメインの目的。決まった時間の中できちんとした成果を出すために、効率を考えるようになった」と話す。実際、初めて任せられた仕事は入社1年目にしては難易度が高く、2年目の前半位まで成果は出なかったという。「このままだとやばい！」という思いから、原因を追究する中で、検体を患者さんの生体材料に変えてみたところ良い結果を出すことができたという。「この経験が一番自信につながったし、成果が出ると仕事にやりがいを感じられます。その後も立て続けに別の研究でも成果が出たので、この経験がすごく活きていると思います」。「京都は研究者の視点から見ると、伝統と最先端が融合している街。大学や共同研究先が多いことも研究には役立っている」そうだ。



お互いを思いやるライフスタイル

田中さんは3月に入籍予定。相手の女性は同じ創薬研究者だが、横浜市の別会社に勤めているため、ひとまず別居婚の形で新婚生活を始める予定だ。遠距離交際が続いているが、月に数回は顔を合わせる。「遠距離で付き合っている分、お互いの時間を大切にできる」、「限られた時間しか会えないと思うとその時間を大切にしようと思う」ことから、「遠距離も悪いことばかりではない」らしい。今後は、お互いにとって一番いいライフスタイルを選んでいこうと話し合う予定。「時間が経つと人の価値観は少しずつ変化するから、その都度修正していけばいい。今の時代、ライフスタイルは決まったものがないので、彼女が今やりたいことを優先したい」「早めに子どもを産みたい」と考える彼女とは「どんなことでも話せる、楽しい家庭」を築きたいそうだ。子どもにも「本当にやりたいことを最優先でやらせてあげたい」と思いを語った。

「いい人生だったな」と死ぬ時に思いたい

自分が発案したテーマが臨床試験に入るのにはまだまだ時間がかかるというが、「今担当しているテーマを臨床試験にのせて、患者さんのもとに届ける」ことが仕事の目標だ。また「死ぬ時にいい人生だったなと思えるような人生を送りたい」と話す。そのために仕事でもプライベートでも、限られた時間を有意義に使うことを意識し、無駄な時間を作らないよう心がけていると言う。

上手くいかないことを人生の糧に

「失敗できるのは若いうちの特権。学生のうちに色んなことに果敢にチャレンジして欲しい。何もしないのは一番もったいない。うまくいかないこともいっぱいあるけど、それが人生の糧になることもある」と、これから社会に出る人たちにアドバイスを送った。

私の人生年表

Q 今まで大切にしてきたことは？

- 何事にも目標・目的意識をもって行動してきた。
- 人とのつながり（家族、友人、恩師、仕事仲間など）
- 健康（何をするにも健康が一番大事！）

Q 今できることは？

- 担当テーマ、企業活動で成果を出す。
- 研究者としての能力向上（情報収集、英語力など）
- 結婚に向けた準備